



緒方明香 さん

おがたはるか／昭和48年生／岡山県在住／
中山区出身／旧姓上野／主婦

ふるさとの行事を大いに楽しむ
—ふるさとながと・こんにちわ—

昨年1月から今年3月まで、長門市で生活しました。実に8年ぶりです。この1年間は広く浅く大いに長門市を楽しんだと思います。和太鼓の練習の参加から始まり、みずぎ祭り、花火大会、湯本の盆踊り、ふるさと祭り、青海島健康マラソン、御来光登山、市民駅伝等々。学生の頃は花火大会ぐらいしか関心がなく、市内より市外を楽しんでいました。又、広報を読むこともなかったので、市の行事がこれほどたくさんあるとも思いませんでした。これからも益々発展し、続いて行つて欲しいと思います。

菓子・ジュースを持って、友人と雑談をしに行きました。登るのは結構大変ですが、景色もよく、人もいないのでお気に入りの場所でした。

これからは、長門を離れてからの時間の方が多くなつていきます。年に数回しか帰れませんが、参加できる行事には積極的に参加し、市内を散策し新しい長門を発見していきたいと思えます。



▲今年の御来光登山に友人と

ありがとうの一言と感謝の気持ち

—達者です—



日下部光子 さん

くさかべみつこ／85歳／通8区

「主人が船員をしていた関係で、熊本から長門へ移り住んだのが60年前、主人は亡くなりましたが、長門はほんとに住み良い町で、娘夫婦のやっかいになつていきます。大変よくしてくるので幸せです」と、日下部さん。通8区の見晴らしの良い山の中腹に花に囲まれたお家に住んでおられました。

「日頃気を付けていることで、あなたにも、ありがとうの一言と感謝の気持ちを忘れないように心がけています」と話してくれました。

趣味は、「詩吟、歌の稽古（唱歌）、楽しみは、週2回のデイサービスで、ゲームをしたり、さつき大学で友人との話や、年に一回研修視察をすることです」と言われました。

健康については、「家に引きこもる事が嫌いで出かける事が多く、家の前の坂を上がったり下



▲さつき大学研修視察で（徳地町重源の郷）